

Central Daily Market Report

2018年12月20日(木)

セントラル短資株式会社 総合企画部

●資金需給

単位：億円	2018年12月20日		2018年12月21日		2018年12月25日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 4,200		▲ 4,600		▲ 3,000	
財政	71,900		4,900		▲ 5,000	
資金過不足	67,700		300		▲ 8,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						▲ 3,100
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入	5,200					
CP等買入		▲ 200		▲ 800		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援			100	▲ 100		
社債等買入		▲ 400				800
E T F買入						
国債補充供給	▲ 100	200		100		
当預増減	72,400		▲ 400		▲ 10,300	
当座預金残高	3,898,700		3,898,300		3,888,000	
準備預金残高	3,376,400					
積み終了先	3,364,900					
超過準備	3,358,900					
非準備預金先	522,300					
積み期間(12/16~1/15)の所要準備額					3,120,800	
準備預金進捗率	実績	99.22%	日数	16.13%		

●2018年12月20日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀勢を中心に▲0.086~▲0.040%の調達希望で始まった。引き続き調達需要は低く、一部の業態からギブンする動きも見られた。ターム物は、月内物で▲0.050~▲0.040%の出しニーズがみられているものの、出合いはなく閑散であった。

<レポ市場>

GC T+0(12/20-12/21)は▲0.200~▲0.150%程度、T/N(12/21-12/25)は▲0.200~▲0.150%程度で出合いが見られた。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では10Y335~352や、5Y130~137、20Y164~166、30Y57~60などカレント近辺の銘柄にビッドが目立った。

<短国市場>

現先レート(T/N)は小幅上昇。アウトライト市場は、翌日に3M物の入札を控え動意なく閑散な中、店頭見合いの買いからか3M物が▲0.33~▲0.315%で出合った。この他に、1Y物が▲0.175%で出合った。

<CP市場>

現先レートは低位横ばい圏で推移した。発行市場は、石油、小売、ノンバンク業態から大型案件が見られ、発行総額は3,000億円程度まで膨らんだものの、償還総額は4,400億円程度と償還超であった。発行レートは引き続き0%近辺が中心であった。

●短期金融市場関連指標

2018/12/20	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円		
	単位：%	最低	最高	平均	最低	最高	平均	発表参考統計値	平均値	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)
O/N	▲ 0.086	0.001	▲ 0.071					-	▲ 0.179	0.025	▲ 0.005	20,392.58	▲ 595.34	112.40-41	111.85-87
T/N			▲ 0.015					-	▲ 0.200						
S/N								-	-						
1W	▲ 0.070	▲ 0.015	▲ 0.049					-	▲ 0.205						
2W			▲ 0.030					-	▲ 0.308						
3W								-	▲ 0.273						
1M			0.015					-	▲ 0.249						
3M								▲ 0.305	▲ 0.179						
6M								▲ 0.190	▲ 0.164						
1Y								▲ 0.175	▲ 0.164						
										日付	12/13	12/14	12/17	12/18	12/19
										日銀当預残	3,773,300	3,816,600	3,833,100	3,837,200	3,826,300
										準備預金残	3,382,300	3,327,200	3,332,700	3,321,700	3,329,100
										マネタリーベース	4,891,800	4,937,800	4,956,100	4,962,900	4,955,000
										無担O/N加重平均	▲ 0.062%	▲ 0.065%	▲ 0.067%	▲ 0.068%	▲ 0.070%
										コール市場残高	115,869	97,806	87,916	85,879	87,704
										うち無担	85,894	74,800	75,564	74,655	76,253
										うちO/N	54,209	45,535	44,649	41,360	42,418
										うち有担	29,975	23,006	12,352	11,224	11,451

●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	募入額(億円)	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補充供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)	80,017	2018/12/20	2018/12/21		141	141		▲0.600	▲0.600	
国債補充供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)	2,614	2018/12/20	2018/12/21		3	3		▲0.600	▲0.600	

●2018年12月21日の予定

*11月の全国消費者物価指数(CPI) 市場予想：前年同月比(除く生鮮)+1.0% *7-9月期の資金循環統計速報	*米国7-9月期のGDP確報値 *米国11月の個人所得・消費支出 *英国7-9月期のGDP確報値	*米国11月の耐久財新規受注 *国庫短期証券(804回)入札(3ヶ月、42,700億円、12/25発行) *流動性供給入札(6,000億円、12/25発行)
---	--	--

●日銀金融政策決定会合・結果

●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。		
(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2) 短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。 長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとし(金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する)、買入れ額については、保有残高の増加額年間約80兆円をめどとしつつ、弾力的な買入れを実施する。		
(2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて) ①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。 ②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。		

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。
セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入